日本の地方自治に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．地方公共団体の議会の議員は住民の直接選挙によって選出され，首長は議員の中から議員同士の選挙によって選出される。
2．地方公共団体において，首長や議会の議員の任期は定められており，住民が首長の解職や議会の解散を求めることはできない。
3．地方分権一括法では，国が本来果たすべき事務は国が行うこととされ，地方公共団体が国から事務を委託されて処理することはない。
4．地方公共団体は，法律の範囲内で独自に条例や予算を作成することができる。
5．平成の大合併と呼ばれる大規模な市町村合併が進められた結果，市町村数は大幅に減少し，2022年4月現在，全国の市町村数は約500となっている。

（正答　4）

次のア～ウはそれぞれ，16～19世紀のイギリスで起こった出来事に関する記述である。これらを古いものから順に並べているのはどれか。

ア．世界に先駆けて産業革命を達成し，他国の追随を許さない工業生産力をもち，「世界の工場」と呼ばれるようになった。
イ．ピューリタン革命と名誉革命の二つの革命を経て，議会が国政に発言力をもつ立憲君主政が確立した。
ウ．国王とローマ教皇との対立から，国王を首長とするイギリス国教会が設立された。

1．ア→イ→ウ
2．ア→ウ→イ
3．イ→ア→ウ
4．ウ→ア→イ
5．ウ→イ→ア

（正答　5）

Ａ～Ｃの３人が１年間に読んだ本の冊数は３人合わせて100冊であり，各人が読んだ冊数の比は，ＡとＢが３：２，ＢとＣが３：５であった。読んだ冊数が最も多い人と最も少ない人の冊数の差は何冊か。

1．　8冊
2．10冊
3．12冊
4．14冊
5．16冊

（正答　5）